

- 糸魚川市では住宅・店舗などに地元産木材を使用する地産地消の取り組みを推進しています。
- 小中学校に地元産杉を使用した実習用木製椅子を設置し、地元産材に触れ合う機会を提供することにより、森林や林業について学ぶ機会を創出しています。

□ 事業内容

- ・市内小中学校で使用する実習用木製椅子を糸魚川産杉で作製する。
- ・市内小中学校の希望校に行き渡るように令和5年度から実施している。

○令和6年度

【事業費】 4,290千円（全額譲与税充当）

【実績】 200脚

□ 取組の背景

- ・豊富な森林資源を活用し、市では公共施設や学校に地元産材を積極的に取り入れている。



□ 工夫・留意した点

- ・「糸魚川産の木材を使っています」といった焼印プレートを活用し、PRを行う。

□ 取組の効果

- ・地元産木材を地元の業者で加工することにより、地域経済の活性化や地産地消の取組が図られる。
- ・児童・生徒が地元産材に触れ合うことで、森林や林業への関心を高め、地元への愛着形成が図られる。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：58,189千円	②私有林人工林面積（※1）：8,175ha	
③林野率（※1）：81.2%	④人口（※2）：40,765人	⑤林業就業者数（※2）：35人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より